

ハーリー・ヘフト博士講演会 「状況に埋め込まれた行為と生態心理学の起源」

CPD 申請中

ギブソンの生態学的視覚論や「アフォーダンス」の概念は多くの建築学研究者によって注目されているが、その成立過程についてはあまり知られていない。高名な環境心理学者であるハーリー・ヘフト博士は「*Ecological Psychology in Context: James Gibson, Roger Barker, and the Legacy of William James' Radical Empiricism* (Erlbaum, 2001).」の著書のなかで、W. James や E. Holt まで遡って、ギブソンの理論のルーツを論じている。今回、本学会国際交流振興基金を受けて来日された同博士にギブソンの理論的背景を語っていただくことは、生態学的な環境の捉え方の新たな視点についてより深く理解できるまたとない機会となる。(通訳付き)

主 催 建築計画委員会 計画基礎運営委員会 環境行動研究小委員会

日 時 10月17日(水) 18:00~20:00

会 場 東京大学伊藤国際学術センター

内 容

- 1) 主旨説明：河野 哲也 (立教大学)
- 2) 「状況に埋め込まれた行為と生態心理学の起源」：  
ハーリー・ヘフト博士 (デニソン大学)

(Situated Action and the Origins of Ecological Psychology)

定 員 55名 (申込先着順)

参加費 無料

申込方法 催し物名称, 氏名, 勤務先・所属, 電話番号, E-mail アドレスを明記のうえ E-mail  
でお申し込み下さい。(定員に達した場合のみお断りの方にご連絡いたします)

申込み・問合せ 日本建築学会事務局 森田

E-Mail: morita@aij.or.jp